

練習の成果を披露 保育所・みんなの発表会

12月10日、上ノ国保育所にてみんなの発表会が開催されました。

発表会では、子どもたちが可愛い衣装に身を包み、この日のために先生たちと一生懸命練習した歌やダンス、リズム劇を参観した家族に披露しました。

リズム劇では、子どもたちがクレヨンやシャープペンシルになりきった「クレヨンのくろくん」や、童話「金のがちよう」が披露され、子どもたちの成長を実感した家族からおひねりが投げ込まれたほか、終わりの挨拶の後には大きな拍手が送られました。



地道な活動が評価され 優良読書グループ北海道表彰受賞

町内で絵本の読みきかせなどを行うボランティアグループ「もこもこ」が優良読書グループ北海道表彰を受賞しました。

もこもこは、平成23年に有志により結成され、町内の小学校や老人福祉施設で工夫を凝らした読み聞かせを実施するほか、乳児の保護者へ、本の読み聞かせの方法や本の選び方の相談に応じるなど、様々な活動を行っています。

これらの活動が、読書の楽しさを広め、地域文化向上に貢献したとして、このたびの受賞となりました。



町内で7名が受賞 税の書道コンクール

江差税務署が主催する「税に関する書道コンクール」において、上ノ国小学校および河北小学校の児童7名が、江差税務署長賞金賞などの各賞を受賞したことを受け、12月7日に河北小学校にて賞状などの贈呈が行われ、受賞した5年生の久末奈那さんと、6年生の吉見魁杜さんが、賞状と記念品を笑顔で受け取りました。

このコンクールは書道を通じて、児童の税への関心を高めることをなごを目的に行われており、子どもたちはこの取り組みで税について考える機会を得たようです。



協力ありがとうをきいた 届けよう服のチカラプロジェクト

9月から11月までの約2か月の間、上ノ国高校では㈱ユニクロと連携し、町民から不要となった服を集めて難民キャンプなどに寄付する「届けよう、服のチカラ」プロジェクトを行いました。

この事業は、生徒が服のリサイクルを通して高校生ができる社会貢献を知るほか、国際問題や環境問題に関心を持つことを目的に、英語学習クラブ「KEEP」に所属する生徒6名が実施しました。

結果、600着が集まり、生徒たちが仕分けをした後、11月30日に発送しました。

